

ハ相雷矛盾シテ居ルト思フ  
第二章「労働組合運動最近の特長」ハ大体最近ノ  
状態ヲ認識シ批判シ得テ居ルモノト思フ  
第三章「労働組合運動」ハ

「吾々ハ予ニ至リテ経済界カ多数ノ大金融ブルジョア  
ヨアジノの掌中ニ在リテ其配権カ推シ此ノ至  
つたニシテ而シテ其ノこと同時ニ金融資本階  
級ニ依リテ政治的支配権ノ確立アルヲヨア独裁ノ  
完成セシメラサシメ置つたニシテ之ヲ速ニシテ経済カ  
今ヤ政治ト先立ニ融合セシメ見込ノのであるガ  
ハ認識ヲ誤ツテ居ルモノト鬼フ其他第三章ハ  
大体ニ於テハ折批判シ得テ居ルモノト鬼フ  
第四章ニ於テハ「中階級」ノ幹部休すニシテ  
ハ之如ク組合主義的立脚地に強く止まり其ノ  
指導下ニ在リテ大衆を以テ其ノ限界にトテ  
めやうとするガ故ニ日常経済闘争を強硬に勇  
敢に指導シシルを絶対専制政治に對する民主

主義獲得闘争にまで転化を遂ゲ得ないし又か  
くするに反して反對するのである

即ち組合運動を無産階級解放運動の一戦闘部  
隊とらしめることを拒否するのである而して  
資本主義社会ノ發展段階に於いて即ちブルジョア  
ヨアがその最高ノ組織体として絶対的専制主  
義的政治形態を以て其ノ先から頭ノ先まで  
武装し無産階級運動労働組合運動に臨むべき  
である時カ、労働者階級ノ解放ヲ妨害するもの  
女ならん労働者階級ノ解放ヲ妨害するもの女ならん  
労働者階級ノ日常経済上ニ於ける利害をすう  
撥レ向上せしめ得ぬことは云ふまでもない  
彼等は労働者階級の公然たる敵切リ者に對し  
ても断乎として闘争し得ない——然り公然と  
右翼と闘ふと自公のボロが出るから  
トノ見解ハ根本的ニ誤謬ガアルト鬼フ其他ハ  
大体ニ於テ判断然認識シ而カモ混合的特質ヲ抛